

たかちほ

議会だより

2016

10.24

No.92

フレー！フレー！
白団！！

(エール交換 岩戸小)

決算審査に 320 件の質疑 (2)
議会報告会 (12)
議員定数アンケート結果 (14)

平成27年度
一般会計

決算審査に320件の質疑

平成27年度 会計別決算状況

〔単位：万円〕

会 計 名			歳入総額	歳出総額	翌年度繰越額※	不能欠損額※	収入未済額※
一般会計			835, 232	822, 721	12, 511	15	11, 218
特別会計	国民健康保険		215, 253	215, 010	242	28	4, 837
	簡易水道事業		6, 562	4, 798	1, 763	0	31
	下水道事業		20, 391	19, 342	1, 049	11	1, 000
	西臼杵地域 介護認定審査会		871	796	74	0	0
	介護保険 (事業勘定)		135, 077	126, 204	8, 873	21	643
	介護保険 (サービス事業勘定)		5, 377	5, 216	161	0	0
	後期高齢者医療		16, 628	16, 621	6	0	202
企業会計	病院事業 (税抜き)	収益的	205, 725	208, 757	▲ 3, 032	192	1, 438
		資本的	370	21, 804			
	水道事業 (税抜き)	収益的	14, 507	13, 134	1, 373	31	1, 275
		資本的	92	3, 420			

※翌年度繰越額には、基金も含まれています。

※不納欠損額とは、徴収停止処分を執行しているものや、すでに時効の満了を迎えているもの、債権者の所在が不明のものなどについて会計処理上、不納欠損となった額。

※収入未済額には現年・過年度分があり、町税や国保税、上・下水道使用料などが主なものである。

320件の意見や提言からなる 付帯意見

内倉町政の目指す最小の経費で最大の効果を挙げる予算執行がなされているか、予算委員会での付帯意見が確実に生かされているか、町民目線の事業が推進されたのかなどに着眼し、320件の質疑や提言をおこない真剣かつ慎重に審査しました。

審査時の意見や提言を総括的にまとめ付帯意見とし、平成27年度一般会計決算を全員賛成で認定しました。

【農林振興課】
①農業従事者の減少や高齢化が懸念される。関係団体と協議を行ない対策に取組むこと。
②民有林伐採跡地の植林率は60%であり、荒廃や災害などが心配される。早急に国・県と対策を講じること。
③有害獣駆除対策について、引き続き広域的

【町民生活課】
①窓口業務については接遇研修の成果もあり、町民に親切・丁寧に対応できているが、更なる住民サービスを図ること。
②合併浄化槽の維持管理については、低所得者に補助金を検討すること。
③負担の大きい浄化槽定検費用については、現在2事業所の法定検査を一元化に向け国・県に要望すること。

【健康増進課】
①健康増進事業に積極的に取組むとともに、各種検診の受診率をアップさせ、医療費削減につながるよう予防医療に更に努力すること。
②ふれあい給食利用者は今後増加が見込まれるため、有償ボランティアの報酬アップも含め人材確保に努めること。

【福祉保険課】
①特定健診の受診率アップを図り交付金を確保し、予防医療に努めること。

【教育委員会】
①文化財産である伝統芸能伝承者助成金の増額は高く評価する。夜神楽を実施している地区については、運営の助成を検討すること。
②教育・芸術文化・スポーツの指導者については、人材確保に努めること。

【ときわ園】
①施設の経費節減を図り、生きがいある施設づくりに努めること。

【建設課】
①町道などの単独事業によく取組んでおり、今後も補助事業を積極的に活用し社会資本整備に努めること。
②町道草切作業や維持管理においては、町民の負担軽減を図り公的負担を講じること。

【企画観光課】
①観光6施設については赤字運営の中、建物や施設内機械などの老朽化が目立つことから早急に対策を考へること。
②光ケーブルの使用料、徴収についてはチェック体制の強化を図ること。

【税務課】
①長期滞納者については経営内容を把握し、納税の徴収率アップに努めること。

【総務課】
①防災については町民の安心・安全を考え、緊急避難などの意識向上に努めること。
②職員の接遇研修を充分に行い、町民へのサービス向上に努力すること。

【農地整備課】
①国や県の有利な事業を確保して、集落活性化に向けた農地保全に努めること。
②土地改良運営事業が今後増々厳しくなる。事業指導や相談窓口の体制充実を図ること。

4—機消防車更新

第4分団機動部の消防ポンプ自動車及び積載品を1792万円で購入換えました。



長い間おつかれさま

災害復旧費に1億5000万円

今定例会では28年度一般会計補正予算、条例の一部改正、町道路線の廃止・認定、人事案件、平成27年度各会計9件の決算など、全22議案を慎重審議し、全議案原案通りに全会一致で可決・承認しました。

一般会計補正額は、3億1523万円の追加となり予算総額は、85億197万円となります。

歳出の主なもの、熊本地震や大雨によって被害を受けた農地、道路などの復旧に1億5012万円、畜産クラスター事業の補助金2850万円などです。

法務局跡地を1760万円で取得

法務局跡地(建物・土地・立木竹・工作物)を当初の額より3万6000円安い、1760万円で取得しました。

中央公民館が手狭になっっていることなども含めて有効活用されます。



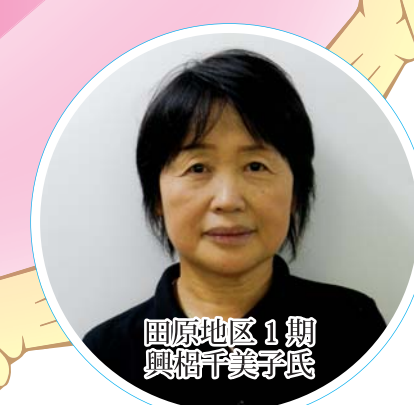
気軽に、いつでも、相談してのお 人権擁護委員を適任と認めました

人権擁護委員は町長が推薦し議会に意見の答申を求め決まります。

法務大臣から委嘱を受け人権に関する『悩み』『困り事』などの相談をおこないます。

気軽に地域の人権擁護委員にご相談ください。

任期は平成29年1月1日から3年間です。



固定資産評価 審査委員を承認

任期満了に伴い、岩戸地区の富高隆治氏（2期目）を承認しました。

固定資産評価審査委員は、町長が選任し議会が承認するもので、任期は平成28年12月1日から3年間です。



富高隆治氏
(岩戸)

審査委員の任務

価格に対する納税者の不服について、中立的・専門的な第三者として固定資産評価を審査します。

括疑 総質

で～する!! どげなる?

高千穂峡の ライトアップ事業

【質疑】高千穂峡のライトアップ事業について事業総額と観光協会との負担割合はどうなっているか。

【答弁】県の「魅力ある観光地づくり事業」を活用し、316万4400円の事業費で取り組んだ。

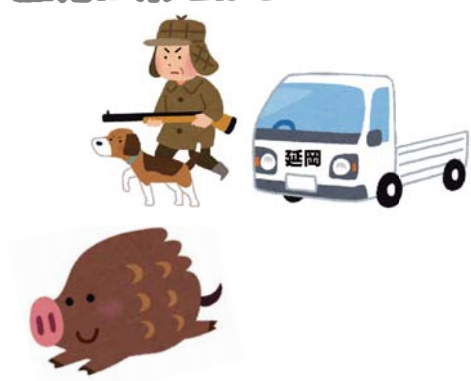
事業主体を高千穂町として町から200万円、県から100万円が観光協会へ補助され、残りを協会が負担した。今後の運営については協会で維持管理する。



高千穂峡ライトアップ風景

町外の捕獲業者が 参入できるのか

加勢に来たばい



【質疑】鳥獣被害防止事業で町外捕獲業者が参入した場合に、地元の捕獲班とのトラブルが心配されるが役場への相談や役場からの指導はあるのか。

【答弁】法律の改正により、県知事が鳥獣被害を防止するための補助事業に参加する団体を認可することができるとなっている。

現在のところ、西臼杵地区では日之影町が町外業者に対して許可を出す前に、業者と地元の捕獲班とが協定を結んでいる。

本町が協定を結んだとしても、報奨金については国の事業分だけ支払うが、町の上乗せ分は支払わない。

Mスター コンテナ苗に 支援を

【質疑】林研グループ育成対策事業についてMスターコンテナ苗試験の支援強化を望む。

【答弁】現在向山丸小野で挿し木から植え付けまでの試験を実施している。実証できれば本町での育成も考えられる。



苗挿木中

高千穂の自然水

上下水道課 (平成27年度決算)

普及率が
83.88%

下水道

施設の状況

下水道の接続対象人口は4115人、普及率86.44%、定内配水設備件数1327件、普及率83.88%、管理延長4万1744m。

決算の状況

歳入2億391万3005円、歳出1億9342万2767円、翌年度繰越金1049万238円。



総務産業常任委員会

委員会の意見

使用料回収には、充分に努力をしているが、事業への理解を求め、分割してでも支払っていたと説明を徹底することを強く要望した。

計画に必要 統合時間 簡易水道

施設の状況

町内26施設、給水人口5471人、年間配水量62万1946立方m、有収率83%。

決算の状況

歳入6562万3074円、歳出4798万7500円、基金繰入金1190万9000円、翌年度繰越金573万6204円。

委員会の意見

統合計画は、水源地や料金格差などの問題点があり、統合には時間が必要と思われる。今後も組合員説明など、納得できる対応を行うよう要望した。



給水人口が
減少

上水道

施設の状況

給水人口6157人、普及率99.45%、給水件数3219件、年間配水量91万2742立方m、有収率70.32%。

決算の状況

総収益1億4507万9550円、総支出1億3134万7645円、当期純利益1373万1905円。

委員会の意見

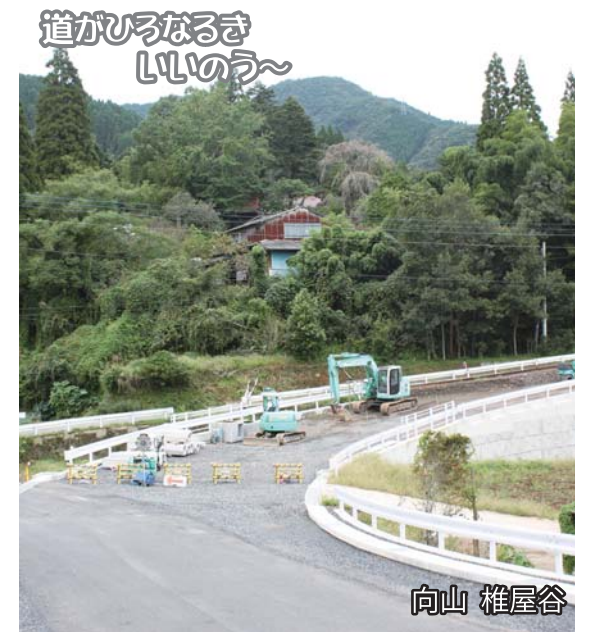
給水人口が減少しており、施設管理費や老朽管の取り換えなど、全体管理費増加が予想されるが、長期的計画案を早急に作成し、今後も余力ある事業運営と経営努力を要望した。



玉垂れの滝 (第一水源)

改良工事による 町道の認定と廃止

町道立宿―土呂久線1635mの改良工事により、起点の位置変更を行い、総延長が1323mになります。残る482mを新規路線(汐井川線)にする。町道高千穂峡線の終点、向山椎屋谷地区の県道諸塚―高千穂線の改良工事により終点延長を、町道に編入する。以上の2路線を委員7名で視察を行い認定した。



向山 椎屋谷

暴力団の入居を 認めない 条例改正

町営住宅の設置および管理に関する条例の一部を改正するもので、町営住宅の入居者が暴力団であることが判明した場合、住宅の明け渡し請求ができる条文を追加する事を可決した。



高千穂峡内の 店舗貸付を公募

高千穂峡内にある休憩所2棟、店舗1棟の貸付期間を1年間から、5年を超えない期間に延長して、営業に専念できるように変更する

条例改正を可決した。現在休業している1店舗については、今後基準にそって公募する。



高千穂峡 御塩井

国保 医療費は県内で1番！

世帯数22,253戸、被保険者39,300人、歳入総額21億5,253万円、歳出総額21億5,010万円です。歳出の主なもの、保険給付費11億9,845万円、後期高齢者支援金等2億3,633万円、共同事業拠出金5億2,054万円、介護納付金1億5,445万円などです。

【財政の状況】
27年度収支242万円から26年度繰越金24,322万円を差し引いた21,900万円の損失であり、27年度実質収支は7789万円の赤字決算となっています。国保準備金は、2億3,277万円で、27年度は5,600万円の基金取り崩しをしています。本町も高齢化が進み、医療費も年々増加しており、1人当たりの給付額は、35万6,785円です。また、1世帯当たりの給付費は62万2,356円で、県内では高い方から1番目となっています。

委員会の意見

高齢化社会の進行や被保険者等の減少によって、特別会計事業の運営はますます厳しさ

を増すと考えられます。各健康調査の受診率の向上を目指し、関係機関と連携して追加交付金の確保に努め、これを要望しました。

全員賛成で認定



元気に育ってね

子育て支援センター

後期高齢 受診率のアップを！

委員会の意見

後期高齢者は増加しており、被保険者の健康づくりと医療費の適正化に努力されることを要望しました。

全員賛成で認定

被保険者対象者は29,190人で、本町総人口の22.7%となっています。歳入決算額は1億6,280万円で、主なものは、保険料94,390万円、繰入金66,860万円です。歳出決算額は1億6,211万円で、主なものは、広域連合給付金1億6,024万円、総務費4,922万円などです。事業主体は宮崎県後期高齢者医療広域連合であり、事務の効率化と医療費の適正化を図るために運営されています。

【今後の課題】

75歳以上の高齢者を対象とした健康調査の受診率は、15.8%で県内平均より下回っており、受診率を上げる取り組みを行うことが重要です。



町立病院 中核病院としての役割

【27年度診療体制】
常勤医師が外科3人、内科4人、整形外科2人、小児科1人の合計10人です。職員は臨時・嘱託職員合わせて204人の体制で救急病院としての役割を果たせるよう診療に努めています。



久米修一院長

松浦亮太先生（研修医）
地域医療で1ヶ月間研修されました。

【診療の実績】
外来患者数は9万1,059人（1日平均374人）で、昨年は124,881人（1.4%の減）となっています。入院患者数は3万7,569人（1日平均1,022人）となり、昨年は64,322人（7%の増）となっています。

委員会の意見

町立病院は西臼杵の救急病院及び中核病院としての役割を果たすために医師の確保、医療体制の充実を図るとともに、地域住民が安心して診療を受けられる体制作りを積極的に取り組んで行くことを強く要望します。

全員賛成で認定

【入院患者の増加要因】
昨年11月から療養病床60床の内14床を地域包括ケア病床とした効果があらわれ、入院患者数が増加しました。

【未収金について】
未収金については、過年度分11,890万円（516件）で、昨年度と比較すると1522万円の減となっています。

介護保険 介護の充実を図れ

委員会の意見

保険事業勘定では、歳入決算額13億5,077万円に対し、歳出決算額は12億6,204万円で、8873万円を28年度に繰越しています。

主な歳出は保険給付費として居宅介護サービス給付金3億4,106万円、施設介護サービス給付金4億9,446万円、地域密着型介護サービス給付金7516万円などです。

介護を必要とする高齢者は年々増加傾向にあります。介護に対する不安を解消するために多様なサービスの充実を図り、地域の現状に対応していくことと、未収金解消に取り組むことを要望しました。

全員賛成で認定



社会福祉協議会

しんから聞くばい!!

町長に3人が質問

一般質問は議員の日常活動や考え方にに基づき、町長もしくは教育長に対する質問の要旨をまとめ、指定日までに議長に通告します。

1人の制限時間は60分一問一答方式で町長などの基本方針をたずねるものです。

町政全般について自由な質問が許された議員の権利で、町民の身近な課題や町政発展に関わる質問を活発に議論しています。

議会日より、紙面が限られており、原稿は1人600字以内に制限していますので是非、町民のみなさんの傍聴をお待ちしています。



飯干清喜議員

みんなで町をきれいに

町長 協議、検討したい

町長 管理職でボランティア活動に
取り組むことは、町民や地域に役立つもので、大変意義のある事だと思
う。
ボランティア活動にも
社会福祉や町づくり
のための活動など、さ
まざま種類がある。
こういった活動がで
きるか課長会と、議会
で協議し検討したい。

問 7月16日に開
催された「元気
だ！高千穂！クリーン
アップ大作戦」に町内
事業所や団体職員、議会
小・中・高校生が参加
し道路清掃ボランティア
活動が行われた。
大変いい企画であり、
これを機会に年数回の
議会を含めた、町管理
職のボランティア活動
が実施できないか。



本願和茂議員

熊本地震後の防災対策は

町長 出来る限りの対応をする



おじいのお

問 ④災害時対応
業務継続計画（
BCP）策定の進捗状況は、

町長 ④県の危機管
理課主催により
市町村BCP策定研
修会が開催されてお
り、12月の研修会終了後、
策定に取りかかりたい。

問 ⑤災害時の復
旧復興のために
基金を取り崩すとす
れば、どのような支
援策や構想を持っ
ているのか。

町長 ⑤災害救助
法を適用の有無な
どを含め、出来る
限りの対応をおこ
なう所存である。

問 ③震災の影響
で家屋などが損
壊し、国・県の支
援が受けられな
かった場合は町
が手厚く支援す
べきではないか。

町長 ③今回の地
震で家屋の一部
損壊があったが、
「災害弔慰金の支
給等に関する条
例」「高千穂町災
害見舞金支給規
定」に基づき対
応したい。



工藤博志議員

遺族会の支援策は

町長 可能な限り支援する



ひとりじゃでんぱい

武道館横の忠霊塔

問 ②遺族会運
営の支援策は、

町長 ②公民館連
絡協議会を中心
とした、慰霊祭
協賛会を通じて、
町民の皆様方
にも慰霊祭の運
営に協力をお願い
している。

町長 「孫、ひ孫」世代でつ
くる、青年部の発
足が進んでいる
が本町でも必要
では。
①遺族会のご
意向、ご要望等
を聞いて、国、
県の動向も見
ながら可能な
限りの支援を
させていただ
く。

問 戦後71年とな
り戦争の悲惨さ
を知らない世代
が増え、関心も
希薄になってい
る。今日の平和
があるのは、先
の戦争で命を落
とされた方々や、
遺族のご苦労の
上成り立っている
事を、若い世代
に語り継いでい
かねばならない。
本町では戦没者
追悼が実施され
ており、遺族会
一同感謝してい
る。地域におい
ても春・秋の彼
岸に、慰霊祭や
墓地清掃がおこ
なわれている
が、高齢化によ
り参加者が減少
し苦労されている。
遺族会行事参加
のたびに話題に
なるのが、遺族
会存続と墓地の
維持管理について
である。そこで
次の2点について
伺う。
①全国的に、遺
族会の思いを引き
継ぐ人がいなくな
るとの危機感から



問 ②公共施設や
避難場所の耐震
補強は進捗してい
るか。
町長 ②現行の耐
震基準が導入され
た昭和56年6月
以降の建物につ
いては、耐震

町長 ③今回の地
震で家屋の一部
損壊があったが、
「災害弔慰金の支
給等に関する条
例」「高千穂町災
害見舞金支給規
定」に基づき対
応したい。

町民の生の声を議会へ

町内4会場でいろいろな意見!!

議会報告会



7月14日(上野出張所)

上野地区

問 熊本地震の復興支援が、他の町村に比べ動きが見えない。今後の被災地支援体制づくりは。

答 メディアの使い方の差で、温泉利用料の条例改正、宿泊費の軽減措置、給油所の時間外営業、山都町への職員派遣、高森町への紙オムツやミルクの物資の支援を行っている。

問 町の借金が多くの交付税で措置されるという不安である。

答 財政再建も含め町職員の意識改革が必要では。

問 町定数を削減すると議会運営に支障をきたすと聞くが、町民はわからない。

答 報酬の削減は若者の意欲を削ぐので諮問委員会を設置し答申を受けては。

問 定数の削減にも限界があり、行政に対する監視機能が失われ地域への細かい目配りが出て来ない。

答 議員になって初めてわかる厳しさもある。

田原地区



6月24日(田原出張所)

全地区で164人の参加

平成21年3月に県内初の議会基本条例を制定し、各地区で議会報告会を開催しています。今回の議会報告会は、全地区に議会活性化特別委員が同席し、議員定数や報酬についても意見交換を交わしました。

問 重度の要介護者対応の施設が田原地区にほしい。

答 岩戸中跡地検討委員会が発足し新たな福祉施設建設が検討される。

問 集落管理を前提に道路建設を要望してきたが、高齢化の影響で困難になってきた。

答 議会でも議論してほしい。

問 地域の若者で受けて作業するなど、自分達で維持していけるように負担軽減を検討する。

問 議員定数を減らせば町のためにならない。

答 今のままで、さらに活動してほしい。

問 実際の議員活動において、これ以上減らしてはいけなさと感じて

答 報酬についても慎重に検討していきたい。

岩戸地区

問 消防団員が減少しており再編成が必要では。

答 数年前の消防団定員は、640人だったが現在は550人である。議会活動の中で再編成について協議したい。

問 岩戸中学校の跡地活用の進捗状況は。

問 平成29年度中に校舎を解体したあと、天岩戸保育園の移設が決定している。

答 福祉施設建設については、岩戸地区に限らず町全体のためになる施設を検討しており、民間経営や参入が厳しいサービスを提供できる施設を考えているようである。

問 町立病院に泌尿器科の常勤医師を確保してほしい。

答 充分認識しているが、ぎりぎりの人員確保は出来ていると思う。

問 過去の選挙時に議員から、定数を減らしていくと聞いた。

答 報酬は人口減少の中、以前より高くなってお

問 報酬は若干、上がったというが人事院勧告による地方公務員特別職の値上げであり、ご理解を願いたい。

答 平成17年に定数を18人から16人に、21年には16人から14人に削減している。

問 報酬は若干、上がったというが人事院勧告による地方公務員特別職の値上げであり、ご理解を願いたい。

三田井・押方・向山地区

問 太陽光発電や風車など自然景観を破壊するものは景観条例で規制すべきでは。

答 今年度中に策定すると回答を得ている。

問 看板条例も含めて考えている。

答 6月議会の一般質問は4人で議員により回数に差がある。

問 地域や支援者の要望を聞き準備すべきでは。

答 議員活動は一般質問だけが全てではない。日常から各課をたずね町民からの要望を届けている。

問 報酬をあげて立候補者が増えるかは疑問に思う。

答 報酬をあげて立候補者が増えるかは分からない。

問 若手育成の観点からは現在の報酬額は充分ではないと考えている。

議会報告会参加者の推移

地区名	H21	H23	H24	H25	H26	H27	H28
三田井	35	24	27	24	19	41	37*
押方・向山	67	43	38	29	36	37	
岩戸	45	32	30	25	15	25	52
田原	73	43	56	42	40	67	44
上野	36	21	26	22	22	32	31
合計	256	163	177	142	132	202	164

平成22年度は、口蹄疫の影響で未開催
 *平成28年度は町民からの要望通り、三田井・押方・向山地区は合同で開催



7月26日(下永の内公民館)

町民からの要望・提言

区分	件数	内容
農林業	1	後継者不足1
農地整備	2	用水路維持管理1、事業全般1
商工観光	2	景観条例1、温泉利用1
建設	5	支障木2、高速道1、町営住宅1 県道1
消防・防災	1	消防団員編成1
福祉	3	高齢化対策1、介護施設建設2
医療	2	医師確保2
財政	2	老連補助金1、予算編成1
人口	5	減少対策2、花嫁・婿さがし1 猿田彦1、公民館統合1
議会	25	定数10、報酬11、一般質問2 対話2
その他	3	閉校跡地利用1、農協1、熊本地震1
合計	51	



7月12日(高千穂町役場)

全世帯へ議員定数の意向調査を実施

議会報告会を町内4地区で実施し、町民の皆さん方から要望・ご意見の多かった、議員定数について全世帯を対象に調査しました。

公民館長をはじめ、地区連絡員の皆さんには多大のご迷惑を、お掛け致しましたがご理解とご協力に心から感謝申し上げます。



現状（現定数）で良い理由と意見

- ① 行政と議会の力のバランスを考えると、議員を減らすことのみがよいとは思わない。
- ② 課題が多様化・深刻化する中で、現行の定数は必要と思う。
- ③ 各種委員会の最低の人員は必要で、十分に機能することが大事。
- ④ 報酬を上げて、若い人でも議員になろうと思うようにして欲しい。
- ⑤ いろいろな角度から意見を出してもらいたい、少人数では視野が狭くなり、意見が偏ると思う。
- ⑥ 同規模自治体と比較すると多い気もするが、辺境部に住む方々の意見を反映させる為には、減らせばいいと言うものでもないと思う。

削減（1人～4人）すべき理由と意見

- ① 町民も年々減少している。地区の代表という考え方はもう古い。
- ② 地方自治体の財政は厳しい、少数精鋭主義で人員削減を。
- ③ 人口に対して多いと思う、議員の活動が一つも見えない。もっと町民の声を聞いて、それを元に活動して欲しい。
- ④ 定数を削減して、議員一人の活動を増やすべき。現在の予算を維持し、一人当たりの手当を増やすべき。
- ⑤ 地域の問題は館長が把握し、代弁するので削減すべき。
- ⑥ 人口減・税収減の中、議員も身を切る改革が必要では。
- ⑦ 定数を減らして報酬を上げると、議員のやる気が増すのではと思う、町民も議員の仕事ぶりに関心を持つのではと思う。
- ⑧ 優秀なやる気のある人材を確保するため、議員の待遇を改善し魅力ある職業として立候補者を増やし、競争することが重要と思う。

回収率 53.7%

（議会活性化に関する特別委員会）

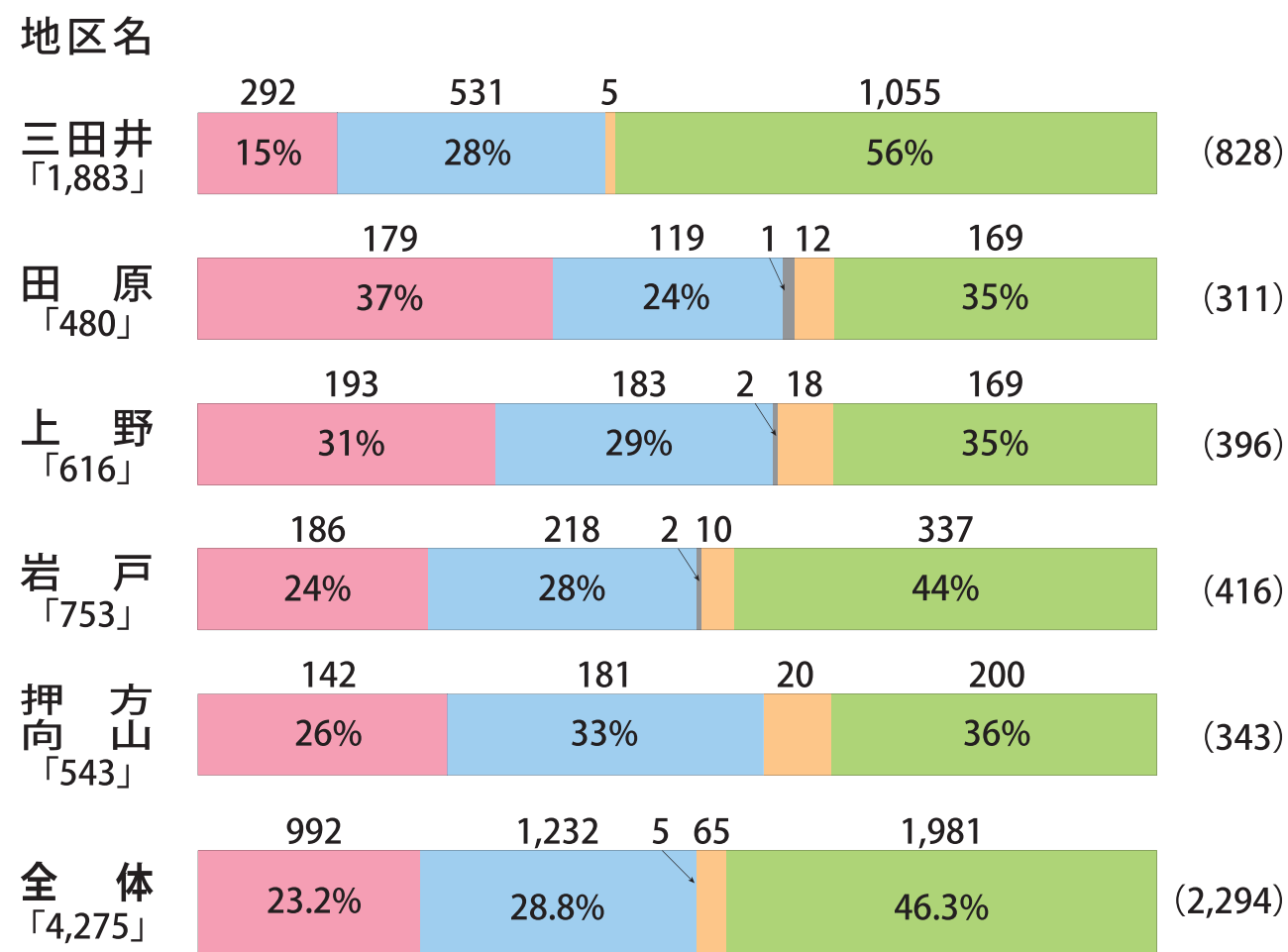
議員定数アンケート調査結果

調査対象世帯数 4,275 世帯
回収世帯数 2,294 世帯

現状 ■ 削減 ■ 増員 ■ 無回答 ■ 未提出 ■

※1 数字は世帯数です。 ※2 「 」は対象世帯数です。

※3 ()は地区ごとの提出世帯数です。



ピックアップ! このひと

岩戸・工藤パン

く どう みずき
工藤 泉希 (24)

高千穂を
盛り上げましょう!



プロフィール

- 高千穂高校卒
- 岐阜県立女子短期大
学生生活デザイン科卒
- 2013年帰省して
パン屋を手伝い商工
会青年部に入部

これまでの店の歩み

県外からパンの販売
に来ていた業者さんを見
て、地元で作ったパン
を地元の人みなさんに
食べて頂きたいと思い、
外販を始めました。
小さい会社ですが多

心がけ

くの人に食べてもらえ
るように販売場所を徐
々に増やしています。
2000年からは従
業員を増員してクリス
マスビザの販売を始め
ました。

すべてのパンを生地
から手作りし、焼きた
てふわふわのパンをそ
の日のうちにお客さん
に届けることです。
また、お客さんの好
みに合わせてパンを変
える工夫もしています。

うれしいこと

お客様から「おおいし
い」や「ありがとっ、
「待ってたよ」と言われ
た時が一番元気になる、
やりがいを感じます。

夢は

今は個人宅の販売が
少ないので自力で買い
物に行けないお年寄り
の家など、外販を必要
とされているお客さま
のところに多く届けら
れたらいいなと思いま
す。

また、地元の食材を
使ったパンの開発も考
えています。

若者に一言

私もまだ、高千穂に
帰って来て4年目で経
験も浅いですが仕事や
商工会青年部活動を通
じて色々な発見があり、
勉強になっています。

どうぞ傍聴席へ

次の定例議会は12月上旬開会予定です。

傍聴のお申込みは、
お気軽に議会事務局
にお尋ねください。

TEL 73-1219

(議会事務局直通)



できたてふわふわ

高千穂に帰ってきた
若者同士、力を合わせ
これからの高千穂を盛
り上げていきましょう。

編集後記

「川のそばに田んぼを
造ってもいずれば川に
戻るもんじゃ。」

豪雨災害が発生する
たびにテレビの映像に
目を向け、年寄りの話
を思い出す。

岩手県岩泉町の特老
施設が水没した現場も
やはり川端ではないか
と思い返す。

災害の歴史は繰り返
しその地名もまた、災
害を防ぐ知識の一つで
あることを忘れてはな
らない。

(弘・S)

発行責任者

議長 佐藤 節生

議会報編集委員会

委員長 本願 和茂
副委員長 中島 早苗
委員 富高 友子
委員 戸高 清次
委員 坂本 弘明
委員 馬原 英治